

# 鹿児島女子短期大学での 「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

## 〔開催概要〕

日時:平成26年10月31日(金)14:40~15:30

場所:鹿児島女子短期大学

※平成26年度 第5回目

平成26年11月

鹿児島市 市民協働課

# 「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成26年10月31日(金)14:40~15:30  
場所:鹿児島女子短期大学

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
1	鹿児島女子短期大学 女性	① 市長は税金・福祉・環境・教育など色々な部署の仕事をしていて多忙なイメージを持っているが、普段はどのような仕事をしているのか。	① 庁内では、それぞれの分野について、それぞれの局の担当課の意見を聞きながら、対応策など考えています。 例えばこの市長とふれあいトークは市民局というところが担当をしていますので、どういう形で市民の方とお互いにトークができるのかなどの検討をしたりしています。 建設局というところは、道路・橋・住宅などの都市基盤を整備するところなので、今後市営住宅をどういうところに作りましょうとか、道路をどういう風に作りましょうとか、橋をどうしましょうかなどの検討をしたりしています。 健康福祉局とは介護・保健・医療などに関わる色々な課題の抽出をして、策を検討したりするなど、それぞれの局が抱えている課題・問題の抽出に力を入れながら、その解決に向けて検討をしています。 庁外では、色々な大会に出席して、鹿児島市のPRをしたり、各都市に出張して観光・物産など鹿児島市に来てもらえるようなPRをしています。 だいたい毎日朝9時から会議によっては夜9時くらいまで動いています。色々な会合・式典は土日に集中していますので、土日仕事をしています。	総務局	市長回答のとおり
2	鹿児島女子短期大学 女性	② 鹿児島市とその他の市町村とのつながりはどのようなものがあるか教えて欲しい。	② 鹿児島県には43の市町村があり、市は19あります。鹿児島市と鹿児島県は、年に1回県知事・副知事含めた県の幹部と市長・副市長・局長が集まって県市意見交換会というのを開催しています。19市の市長が集まって、市長会というのを作っています。その市長会の中で、それぞれの市が抱えている問題・課題を出して、協議して解決を見出しています。また、43市町村の皆さんとは県市町村振興協会というのを作り、私は理事長をしています。町村も交えて色々な課題に対して、どういう協力ができるかを話しています。 また、鹿児島市は色々な都市と交流をしており、協定を結んでいます。昨年は札幌市、その前は長野県松本市、昭和44年には山形県鶴岡市と協定を結んでいます。色々な都市と協定を結んで、文化・教育・スポーツなどの交流を進めています。 鹿児島市は外国とも姉妹友好都市を結んでいます。オーストラリアのパース市、イタリアのナポリ市、アメリカのマイアミ市、中国の長沙市の4都市と姉妹都市を結んでおり、都市間交流を進めています。 人口が減っていますので、人口の減少に歯止めをかけるには、交流人口を増やす方策が必要だということで、色々な都市と色々な面で交流を進めて鹿児島市の魅力を伝えています。	総務局 企画財政局	市長回答のとおり

# 「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成26年10月31日(金)14:40~15:30  
場所:鹿児島女子短期大学

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
3	鹿児島女子短期大学 女性	③ 天文館の活性化のためにどのような策を考えているか教えて欲しい。	<p>③ 私が若い頃には天文館が最も賑やかな繁華街でした。今少しずつ都市の形態が変わり、施設が中央駅周辺に集まり、南部地域にもイオンなどの商業施設ができています。そのような中で、中央駅周辺を含めた中心市街地、特に天文館周辺のまちづくり・活性化をどうしたらいいかということで、協議会を作って色々対策を検討しています。国が中心市街地活性化に係る施策を打ち出しており、その中で色々な事業を起こし、国からの補助金を頂きながら対応をしていますが、なかなか実態として実績があがっていないところです。</p> <p>そして、商店街にも頑張ってもらいたいということで「頑張る商店街支援事業」や「にぎわい商店街づくり支援事業」など、自分たちでまちをより一層魅力ある、そして回遊性のあるまちづくりをしたいという人たちに補助金を出して、意欲をより一層高めてもらうために対応しています。</p> <p>また、県・市・経済団体と鹿児島市の中心市街地の活性化に向けての色々な対応をしています。</p> <p>中央駅周辺には皆様方が行って楽しめるようなお店がたくさん出てきて若い人は流れているように感じますが、元来天文館はまちの顔ですので、対策をしていかなければならないという気持ちはみんな持っています。</p> <p>それぞれの地域が核になって、その核が連携・連動してまちづくりを進めていければと思っていますので、中央駅周辺・南部地域・天文館・鹿児島駅周辺がそれぞれ魅力を持ったまちづくりを進めることで天文館地域もこれまで以上に人が回遊できるような環境の整備が出来ると思います。</p> <p>天文館地域にはマンションがたくさん出来ていますが、利便性が高く、医療機関が多いところに高齢者が多く集まっています。そういう人たちが安心して暮らせるような対応も必要だと思います。</p> <p>また、鹿児島市は地域創生のモデル都市に選ばれていますので、モデル都市に恥じない、ふさわしい都市づくりに取り組んで、天文館がより一層賑わっていけばと思います。</p>	企画財政局 経済局 建設局	市長回答のとおり

## 「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成26年10月31日(金)14:40~15:30  
場所:鹿児島女子短期大学

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
4	鹿児島女子短期大学 女性	④ 私たち鹿児島女子短期大学を含めて多くの女性の方たちが様々な企業で活躍をしていると思うが、議員や役職に就いている女性は少ないと聞いた。女性の社会進出について、市が取り組んでいることがあったら教えて欲しい。	④ 国でも輝く女性の皆様方の社会を作っていこうという方針を立て、色々な対策をしています。鹿児島市でも、若い人・女性が鹿児島市に永住して、しっかりと仕事をし、活躍できるような環境づくりが必要だと考えています。 鹿児島市の企業に優秀な女性の方々を雇用してもらえるような要請もしています。 鹿児島市で仕事をして、結婚をして、子どもを産んで、その子どもを養育しながら働ける環境を作ることで、多くの女性の方々が働ける場を持てると思っていますし、また鹿児島市の活性化にもつながっていくと思っています。そして、女性が活躍することで賑わいも生まれ、皆さん方の素晴らしい感性を活かしてまちづくりも前進すると思います。 鹿児島市では、政府が考えているような事業を先に取組んできました。男女共同参画推進条例の制定、りぼんかん・たにっこりん・なかよしの・なかまっちといった子育てをするための施設・つどいの広場も作っています。企業が女性を雇用するという点では、現在鹿児島市にある企業もそうですが、全国から鹿児島市に企業を誘致して、その企業が女性を雇用してもらおうということにも力を入れています。	市民局 経済局	【市民局】 市長回答のとおり  【経済局】 本市においては、多様な働き方が可能で、女性の雇用が期待できるコールセンター等の誘致に積極的に取り組んでおります。

# 「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成26年10月31日(金)14:40~15:30  
場所:鹿児島女子短期大学

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
5	鹿児島女子短期大学 女性	⑤ 市長のプロフィールにもスポーツ観戦が趣味と書いていたり、テレビなどで市長と子どもたちがスポーツをしている姿を見たことがあるが、スポーツを通しての地域とのつながりについてどのように考えているのか教えて欲しい。	⑤ 私は競技が上手いわけではないですが、汗を流すことが好きですので色々なものに参加してきました。市長になる前にはある程度時間もありましたので、地域の人たちとバレーボールやソフトボールをして楽しんできました。そのようなスポーツを通して、地域の交流が生まれることで、地域の皆さんの輪・連携が強くなっていくと思います。 私も現在のところに居を構えて30年近くになりますが、若い頃は色々なスポーツを地域の皆さんと一緒にしたことで、その後スポーツ以外のことでも色々なことで意見を交わすことができましたし、町内会をどうしたらいいかという話し合いもできるようになりました。 スポーツがひとつのきっかけになって、お互いがお互いを知るようになって、そのことで連携が広がって、そして地域の活性化・賑わいにつながっていくと思います。今でも地域の方々と顔を合わして、話をしてお互いの近況を聞いたりしています。 いま、町内会・地域の連携が薄くなってきていますので、そういう状況を打破するために、スポーツや文化活動を介したお付き合いというのを広げていければと思います。そういうことがまちの連携につながっていくと思います。災害など何かあった時には、そのような連携が大切だと思います。ぜひ町内会や地域の活動に積極的に参加をしてください。	市民局 教育委員会	【市民局】 町内会は、地域の清掃や防犯灯の維持管理、スポーツ大会や夏まつりなどの親睦活動等、住みよい地域社会づくりに取り組んでいただいております。また、町内会加入世帯は減少傾向にあるところですが、このことから、市としても町内会活動を活性化するため親睦活動や防犯灯の設置・管理等に対し活動への参加を呼びかけるなど加入促進にも取り組んでおります。 ぜひ学生の皆さんも機会を見つけてお住まいの地域の町内会活動に参加いただければと思います。  【教育委員会】 市長回答のとおり  (参考)各地域におけるスポーツ関連事業 ○地域スポーツの推進 スポーツ推進員 79校区 186人 ○スポーツクラブ 市内13地域に13クラブ ○市民体カづくり事業 スポーツ教室 小学校の体育館使用 4教室 ニュースポーツ体験講座 小学校の体育館使用 6教室 体カテスト2会場(スポーツドクターによる健康診断、カウンセリング 有)

## 「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成26年10月31日(金)14:40~15:30  
場所:鹿児島女子短期大学

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
6	鹿児島女子短期大学 女性	⑥ 私が小学生の頃にさくらじまんの名前の公募があり、クラスみんなで真剣に考えたことがあった。名前がさくらじまんになった決め手と由来を教えて欲しい。	⑥ 色々なマスコットキャラクターの名前を考えるときには、多くの皆様方の意見を聞くために公募して、最も多かった名称に決めます。一生懸命考えていただいたのですが、さくらじまんという名前に決まったと思います。さくらじまは、赤くて煙が出ていて、桜島の形そのものですので、さくらじまんという名前に決まったと思います。一生懸命考えてくださったのは大変ありがたいですが、決まる時は単純に決まるということもあります。多くの皆様に愛される名称をつけてもらうということが大切だと思います。	市民局	さくらじまを所管する鹿児島県に確認したところ、 「さくらじまん」は、「ねんりんピック鹿児島2008」のマスコットキャラクターとして、誕生しました。 大会マスコットのデザインが、桜島をモチーフに、高齢者の人々が生き生きとあらゆる分野で活躍し、健康で明るく躍動する姿をイメージしたものであったので、「桜島」と「MAN(人間)」をあわせた造語であり、「雄大な桜島は鹿児島の自慢であること」「ねんりんピックは、参加者の元気、技などのアピール(自慢)する場であること」などの意味が込められた「さくらじまん」という愛称に決定しました。  という理由で名前がさくらじまんになったとのことでした。

# 「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成26年10月31日(金)14:40~15:30  
場所:鹿児島女子短期大学

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
7	鹿児島女子短期大学 女性	⑦ 私は介護について勉強しており、私たち若い人と高齢者との交流はお互いの刺激になってとてもいいものだと思うが、鹿児島市で若者と高齢者の交流をする機会や場所はあるのか教えて欲しい。	⑦ 少子高齢化がどんどん進んでいますので、若い人と高齢者との交流はより一層つながっていかねければ、まちが衰退していくと思います。具体的には、市営住宅の中に若い世代と高齢の世代が一緒に住んでもらえるような環境づくりをしたり、高齢者の方々がされる色々なイベント・スポーツに若い人・家族に入ってもらえるような催しをしたりしています。 また、伊敷に高齢者福祉センターと親子つどいの広場を作っていますが、2つの施設を合築して、交流ができるような場を作っていこうとしています。接点を作るということを市の事業として対策をしています。 町内会で役職に就いている方は高齢者の方が多く、若い人たちが入ってこないという現状を変えていこうとことで、地域コミュニティ協議会というものを作ろうとしています。いま3つのモデル地区がありますが、どのような課題があるか抽出して、その地域で若い人から高齢者まで一緒になって地域のまちづくりに取り組んでいけるような仕組みを作っています。出来るだけ早い期間で全市域にコミュニティ協議会というものを作っていただけのように努力をしているところです。まちはみんなで作っていかねばいけませんので、若い人と高齢者が話し合い・協力をしてまちづくりに関わることができるような環境を整備しています。 学校の授業に関しては、地域には知識・経験を持った方がたくさんいますので、そういう人たちをボランティアとして先生の補助をしていただいて、高齢者と若い人たちが交流を持っていたできるようにしています。	健康福祉局 教育委員会 市民局 建設局	【健康福祉局・教育委員会】 市長回答のとおり  【市民局】 地域コミュニティ協議会は、町内会などの既存のコミュニティ組織やNPO、企業など、校区内で活動している各種団体が連携協力してまちづくりに取り組む組織で、現在、中名・八幡・平川の3地域で協議会を設立し、活動いただいているところです。 同協議会では、アンケート調査を実施するなど、地域住民の声を聴いて、自分たちのまちづくりの指針となる地域コミュニティプランを策定していただきます。同プランは、自分たちの地域の将来像を思い描き、地域課題の解決や地域資源の活用などに取り組むための具体的な計画であり、計画の実現に向け、役割分担を図りながら住民みんなでまちづくりに取り組んでいただくこととなります。 27年度から地域コミュニティ協議会を市内全域で順次設立していくこととしており、地域主体のまちづくりに積極的に支援をしてみたいと考えております。  【建設局】 住宅に困窮している子育て世帯の居住の安定確保とコミュニティバランスを回復を図るため、平成20年9月募集から少子高齢化の進行している住宅地にある市営住宅において、空き家募集の2戸に1戸を子育て世帯向(小学生以下の子どもがいる世帯)とし、世代間の交流が図られるよう配慮しています。 また、25年度から、未就学児のいる子育て世帯を対象に、少子高齢化の進行した老朽住宅団地において、建替住戸の一部を子育てのしやすさに配慮した「子育て仕様住戸」として建設しています。

# 「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成26年10月31日(金)14:40~15:30  
場所:鹿児島女子短期大学

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
8	鹿児島女子短期大学 女性	⑧ 私たち2年生は就職を目前としていて、4月からは就職して社会に出ていくことになっている。これからの鹿児島を担っていく私たち若者にどのようなことが求められているか教えて欲しい。	⑧ どういう仕事に就かれるかは分かりませんが、自分がそういう仕事を目指して、目標に掲げて、就職をされるのでしょうかから、まずは自分が選んだ仕事に誇りを持っていただきたいと思います。そして、自信を持って、何にでもチャレンジをして、会社の発展のために仕事をしてもらいたいと思います。また、自分のためにも、色々な機会を捉えて自己研鑽に努めて、人間形成に努めていただきたいと思います。多くの同僚・先輩が出来ますので、意見交換・交流をして、仕事が楽しくできるような雰囲気づくりをしていただければと思います。最初は戸惑うこともあると思いますが、自分が就職した仕事に誇りを持って、色々なことにチャレンジしてもらえればと思います。	総務局	市長回答のとおり
9	鹿児島女子短期大学 女性	⑨ 平成26年度の年間支出のグラフを見たら、民生費が群を抜いて多いので、力を入れているということが分かったが、教育については、具体的にどのような支援をしているのか教えて欲しい。	⑨ いま鹿児島市の年間予算が2,300億円ほどありますが、その半分が民生費です。民生費には福祉・医療・介護などの社会保障に関わるものが含まれます。どんどん増えています。これは高齢化が進む中で、地域で健康的にいきいきと暮らしていただくことが大切だということで、予算を組んでいます。 教育は鹿児島市政の最も重要な柱です。私は7つのKという基本政策を作っていますが、教育のKも含まれています。教育は鹿児島市の未来を担う若い人たちをどう育てていくかという観点から、最も重要なことです。 鹿児島市は桜島の降灰がありますので、鹿児島市の学校にはすべてクーラーをつけるというのも教育費に入っています。そして、大学とは包括連携協定の中で、学校側から要望のある色々な事業に対して支援をする予算というのも教育費に入っています。 また、鹿児島には昔から郷中教育というのがありました。年配の方が若い人たちに地域で色々なことを教えようというのですが、それを復活させようという事業も教育費の中に入っています。 スポーツ関係では、地域で指導をしていただいている体育指導員に対する支援なども教育費に含まれています。 将来鹿児島市に残っていただいて、しっかりとしたまちを作ってもらえるような、青少年の教育・健全な育成という大きな目標に掲げたのが教育費です。教育費の予算というのは、今後ともソフト面・ハード面ともとともに組んでいかなければいけないと思います。7つのKの一つですので、鹿児島市の基本政策の最も重要な政策のひとつです。	企画財政局 健康福祉局 教育委員会	市長回答のとおり